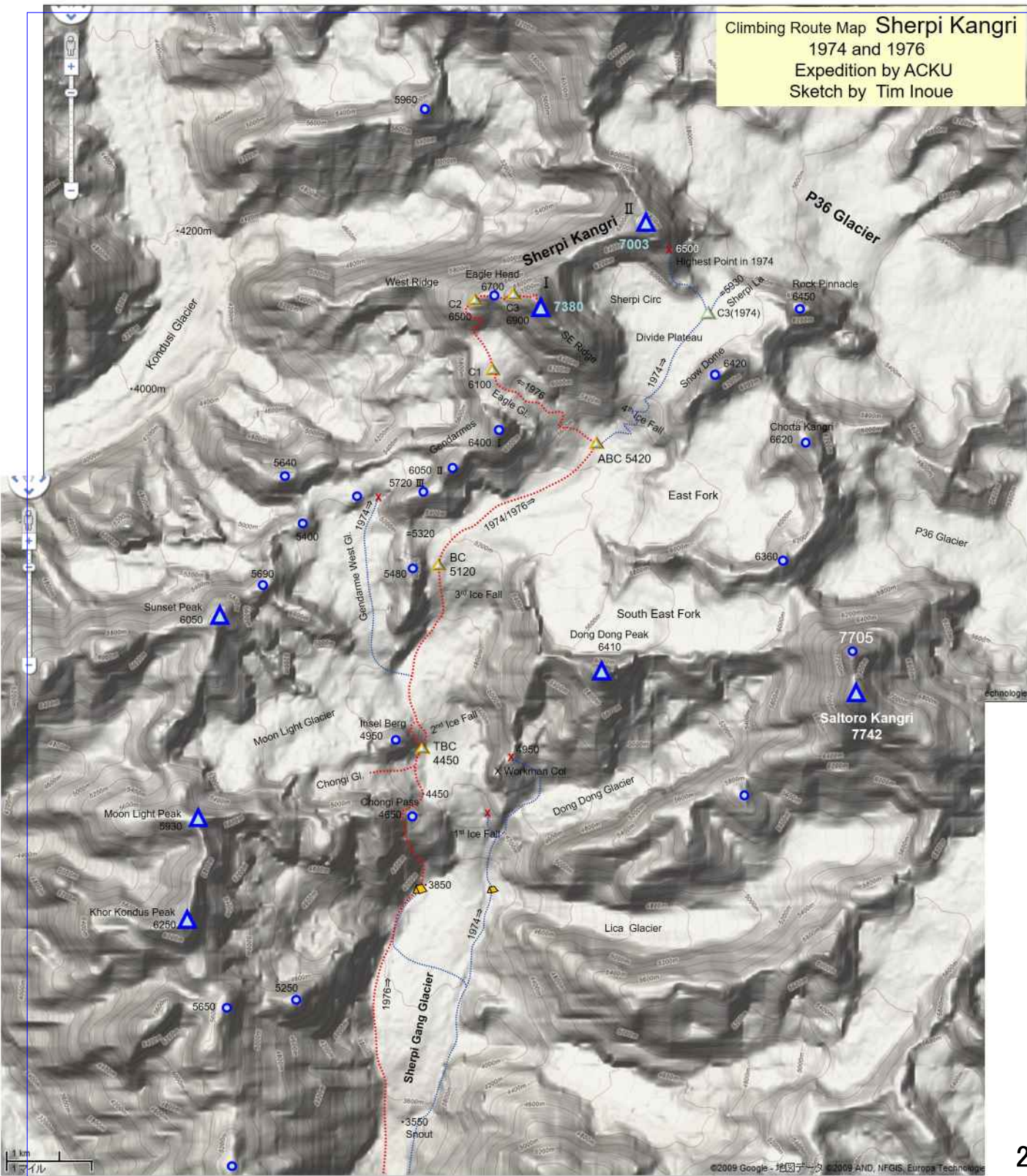




2021/12/16

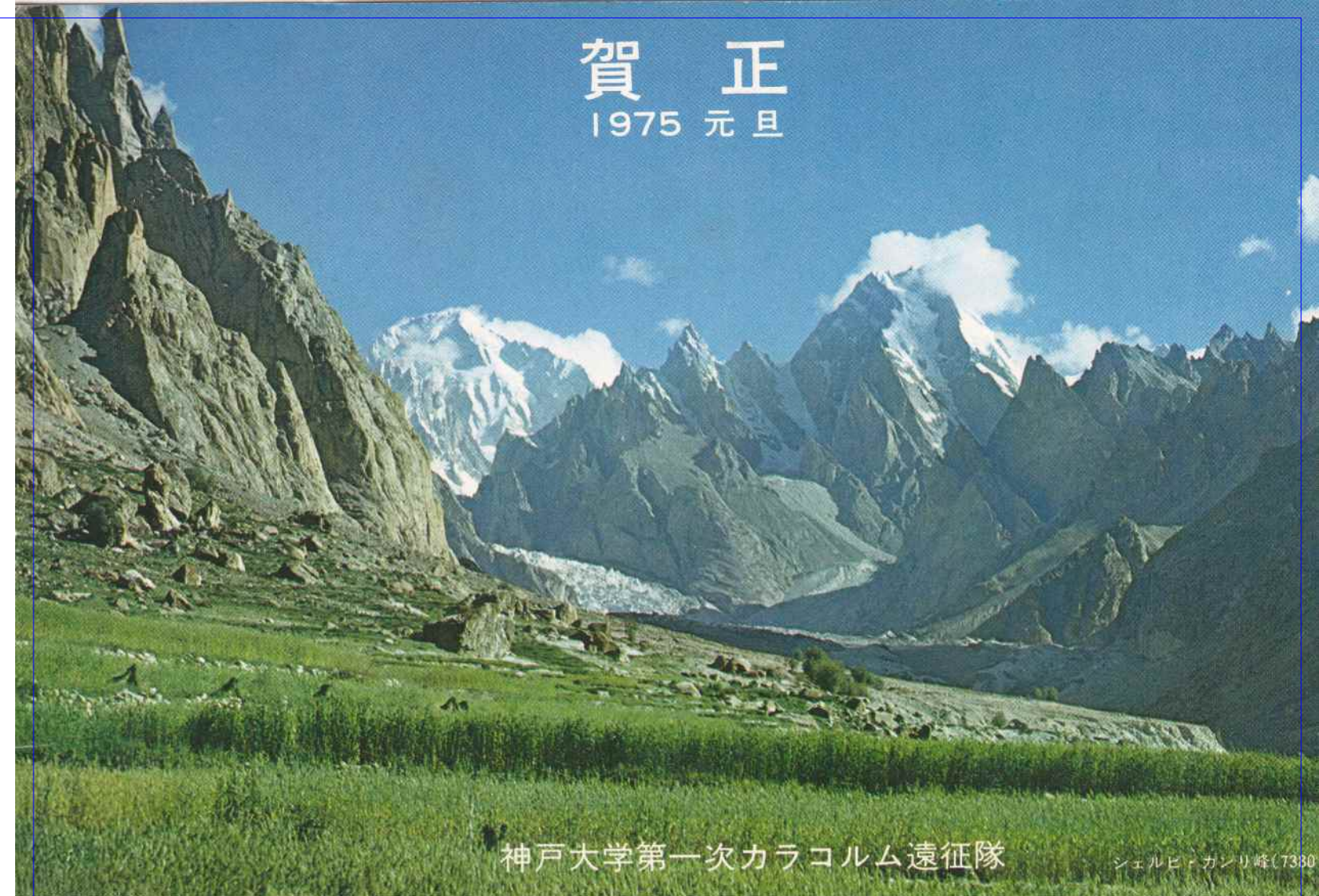


Sherpi Kangri 7380m

神戸大学第一次・第二次カラコルム遠征隊

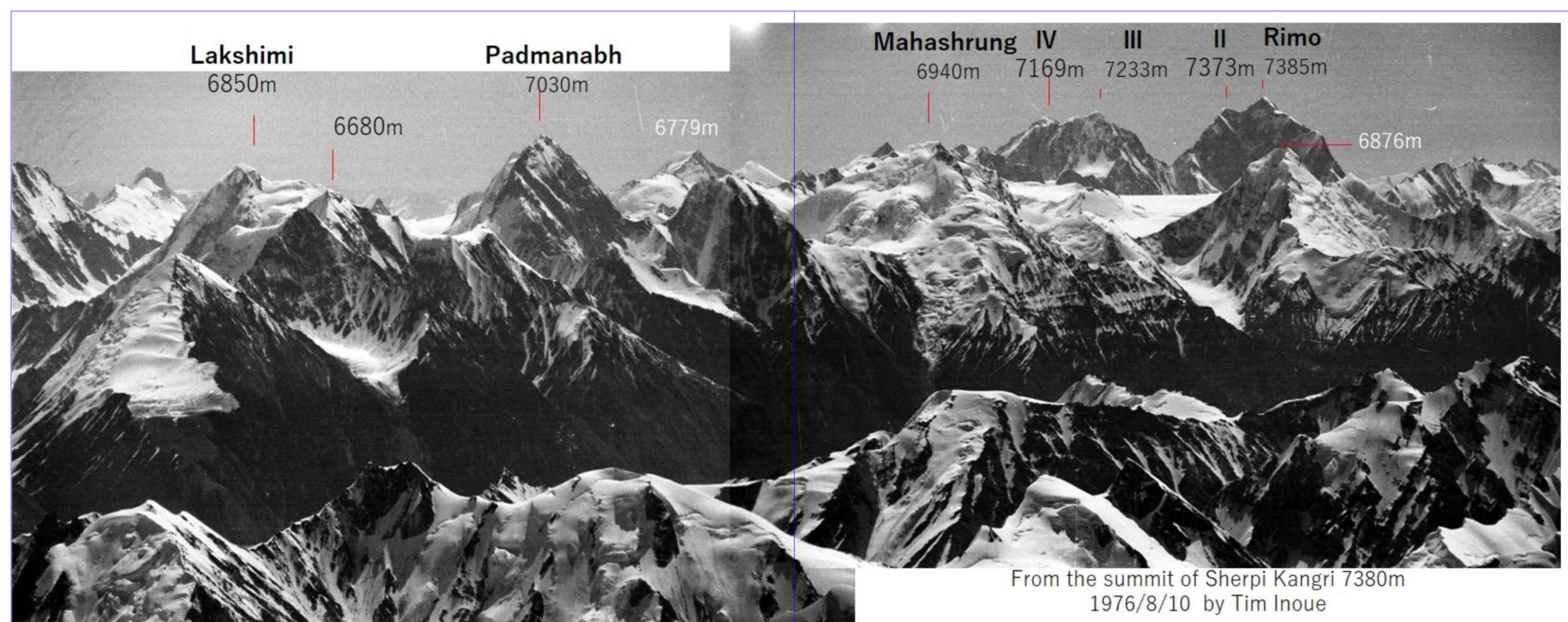
1974 & 1976

作成 井上達男



1974年の第一次隊は未知のシェルピガン氷河の4つのアイスフォールと複雑な支流の探検を続けた。

氷河の源頭(Sherpi La 5930m)に到達した。
そこから第二峰の東稜を6500mに到達したが、7303mの頂上には至らず。
本峰への登路を偵察し、西稜に登頂の可能性を見出して遠征を終えた。。

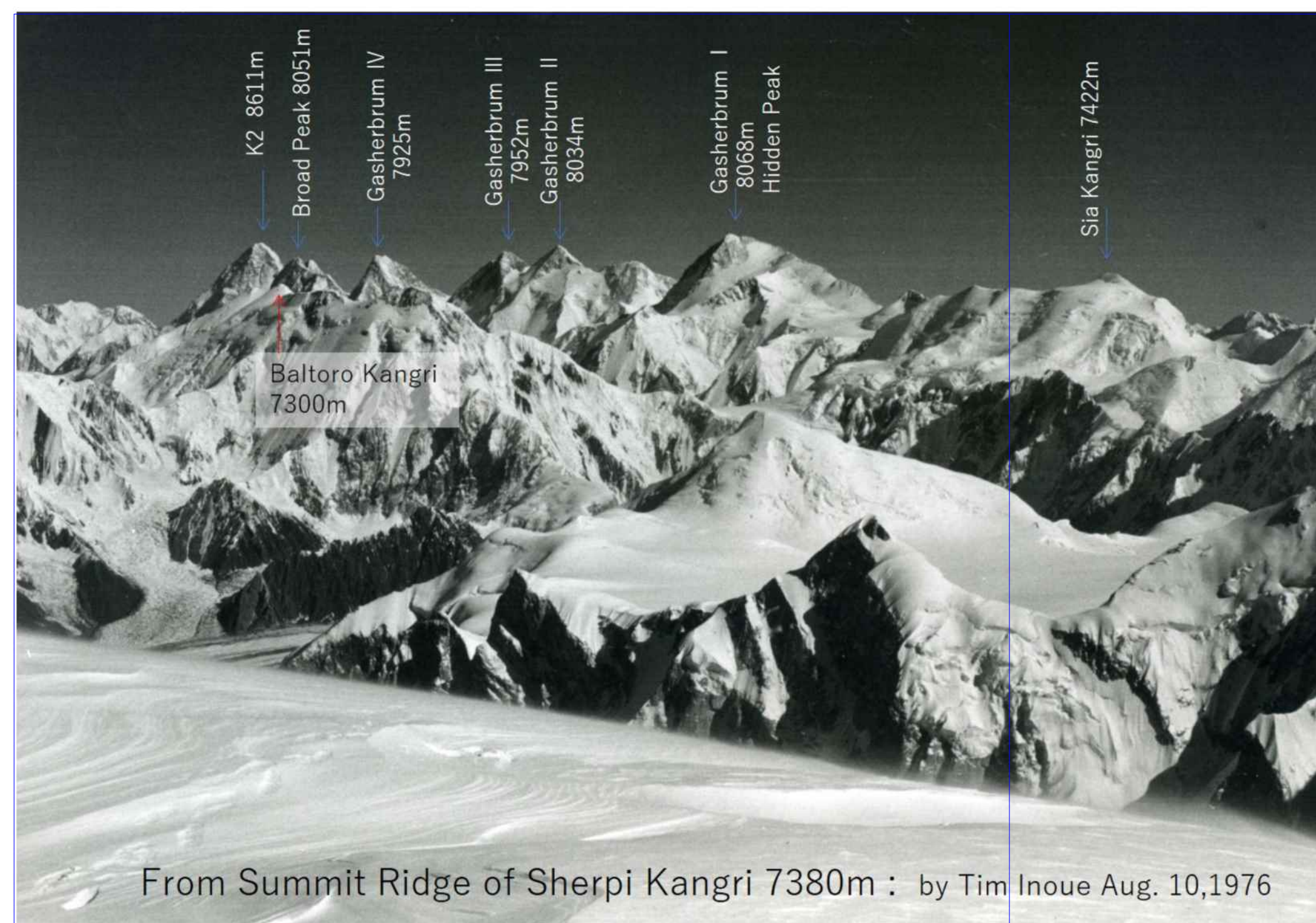


Siachen氷河流域は1976年当時はパキスタン領で、遠征隊は当然のことながらパキスタンから入山した。
2021年現在、シアチェン氷河流域はインドが実効支配している。
Rimoも当然ながらインドからのアプローチとなる。
Sia Laにはインド軍の駐屯が伝えられている。

1980年8月6日 右田卓君、逝去

東部カラコルム リモ峰偵察途中、ロロフォンド氷河にてヒドンクレバスに転落
翌年、追悼隊が氷で包まれたクレバスにて追悼

リモ遠征計画は消滅した



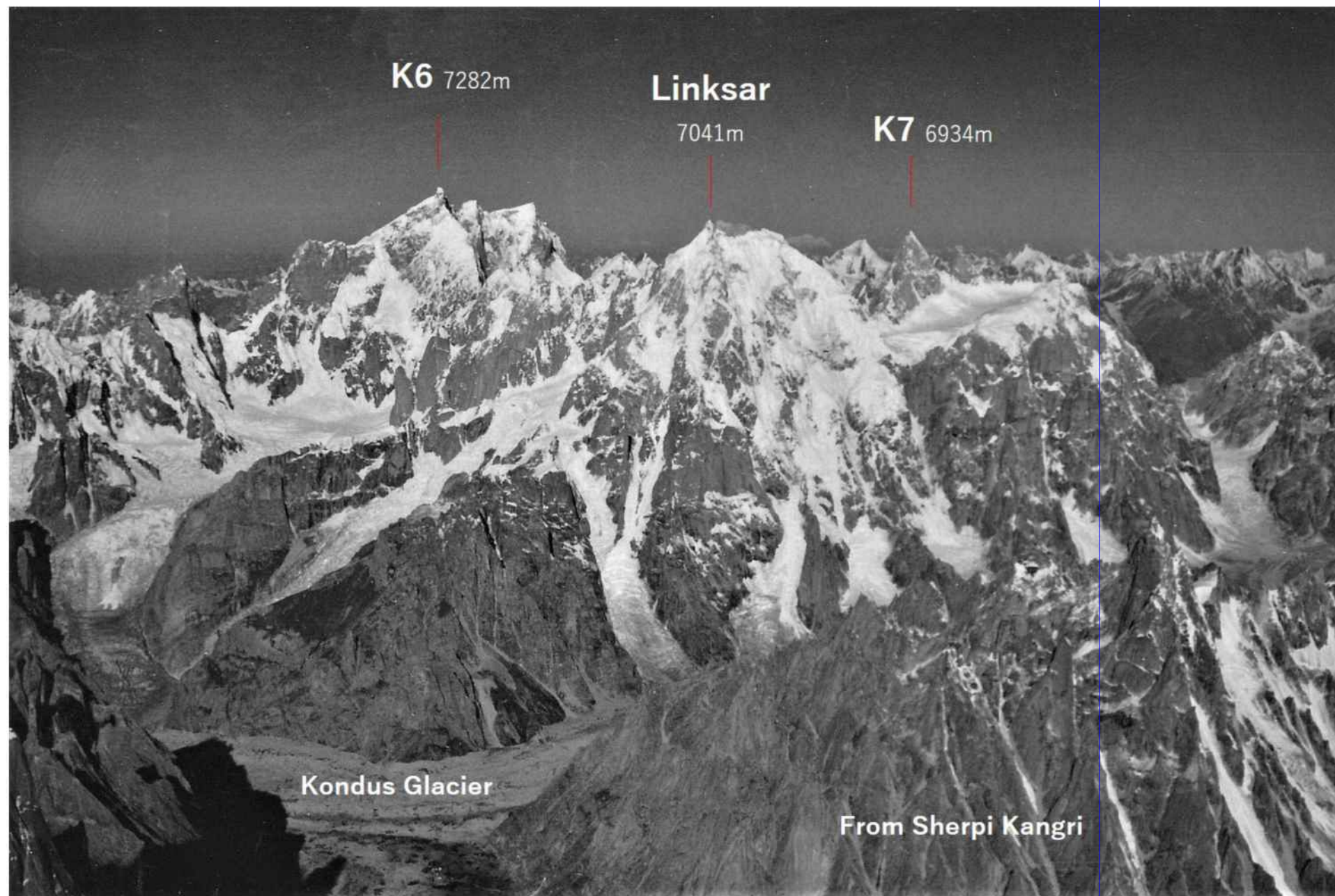
晴天に恵まれて、シェルピカンリの頂上からはカラコルムのジャイアント・ピークを一望することができた



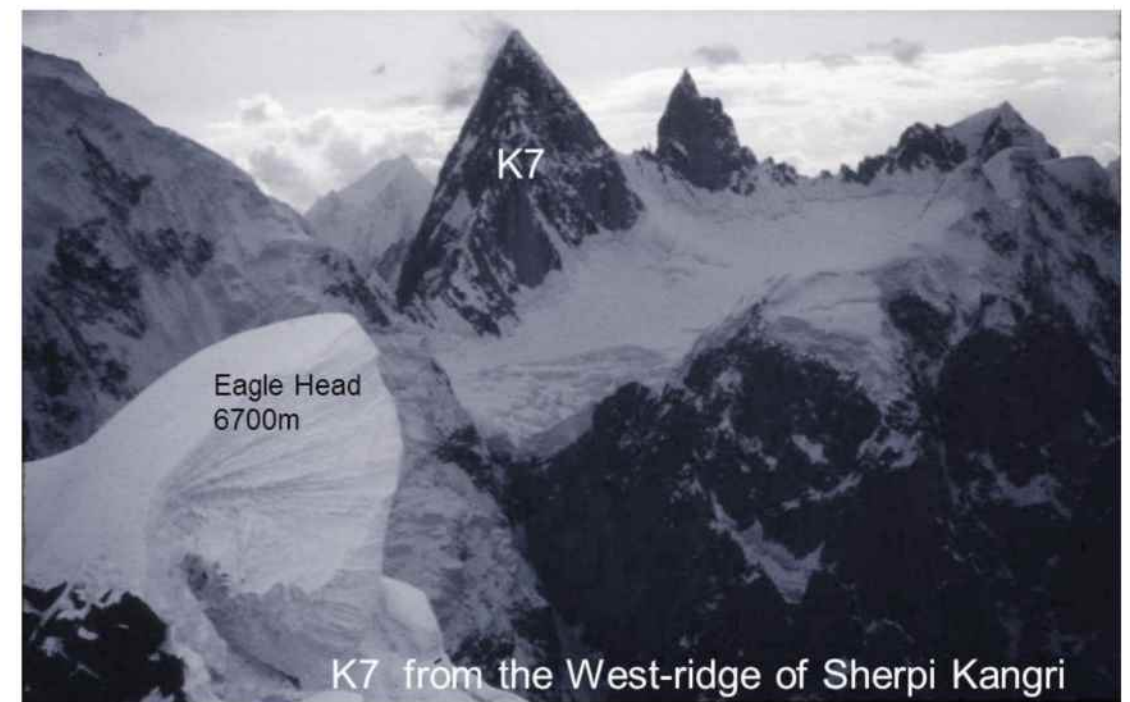
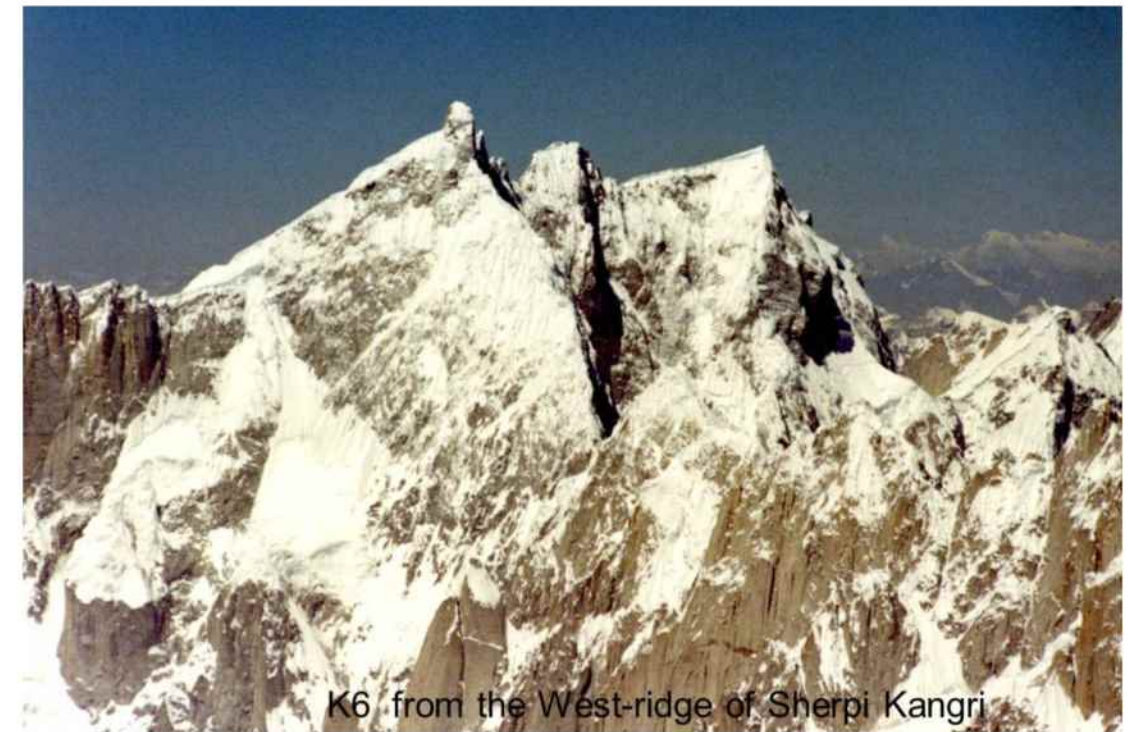
Gasherbrum IV III II

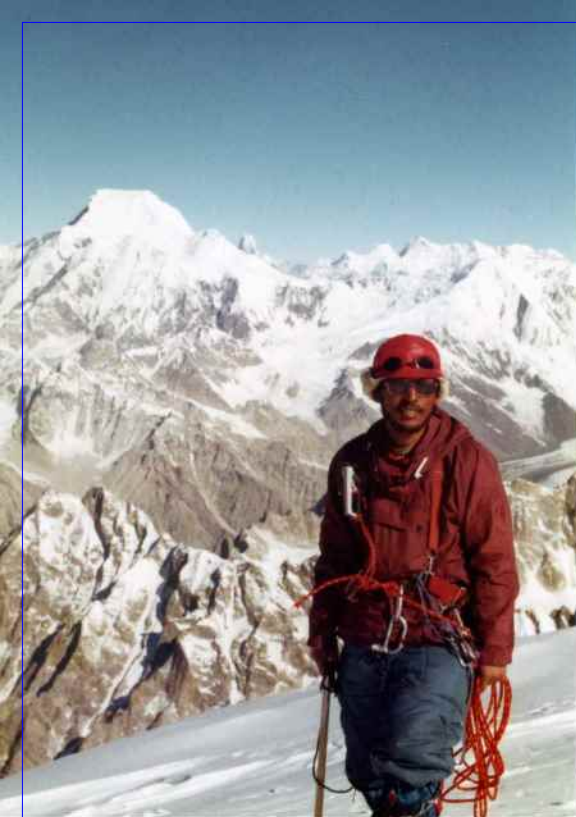


K2 Broad Peak Gasherbrum IV III II



K6 7282mは 1970年、オーストリア隊により初登頂された
 K7 6934mは 1984年、東京大学スキー山岳部により初登頂された

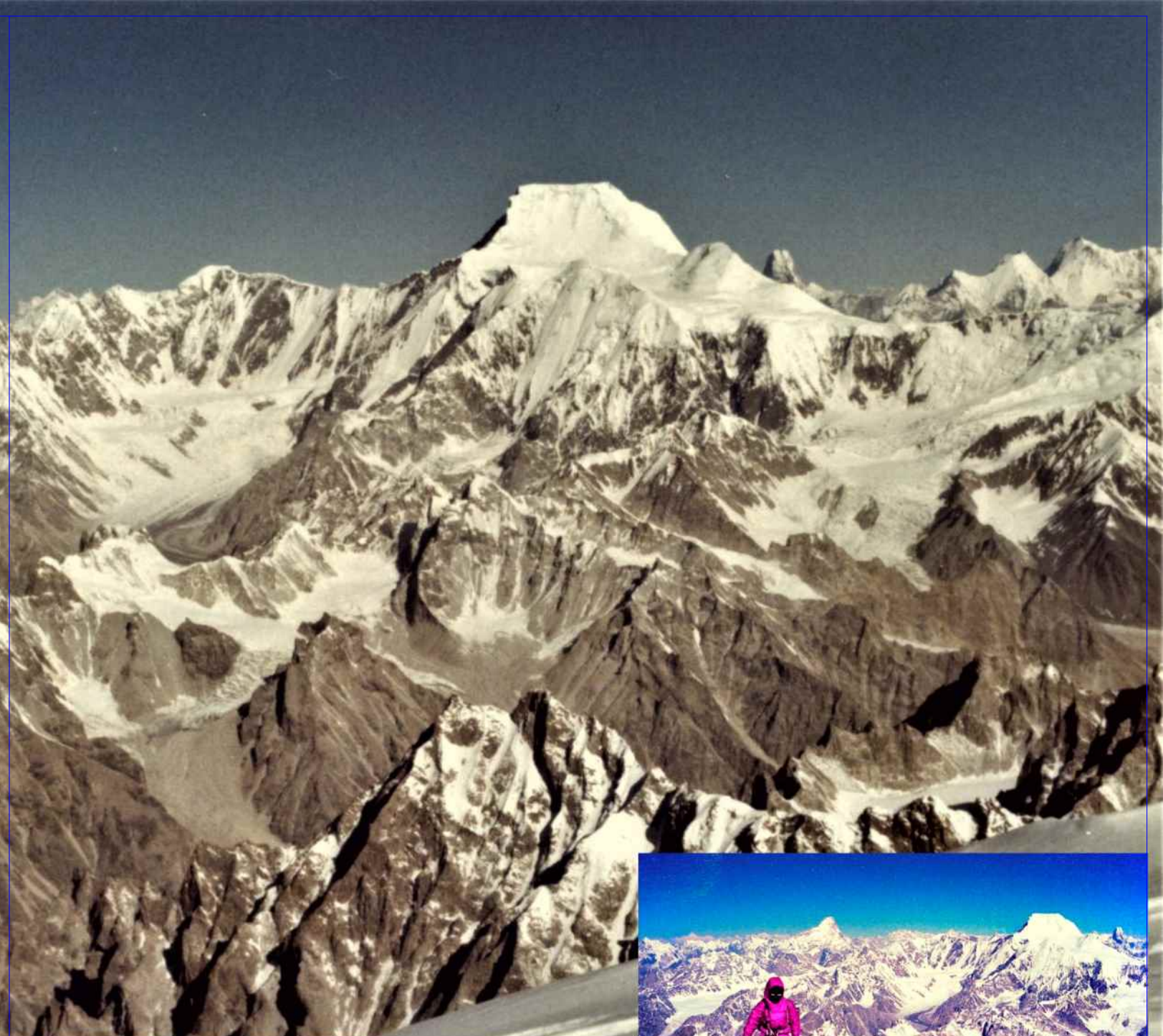
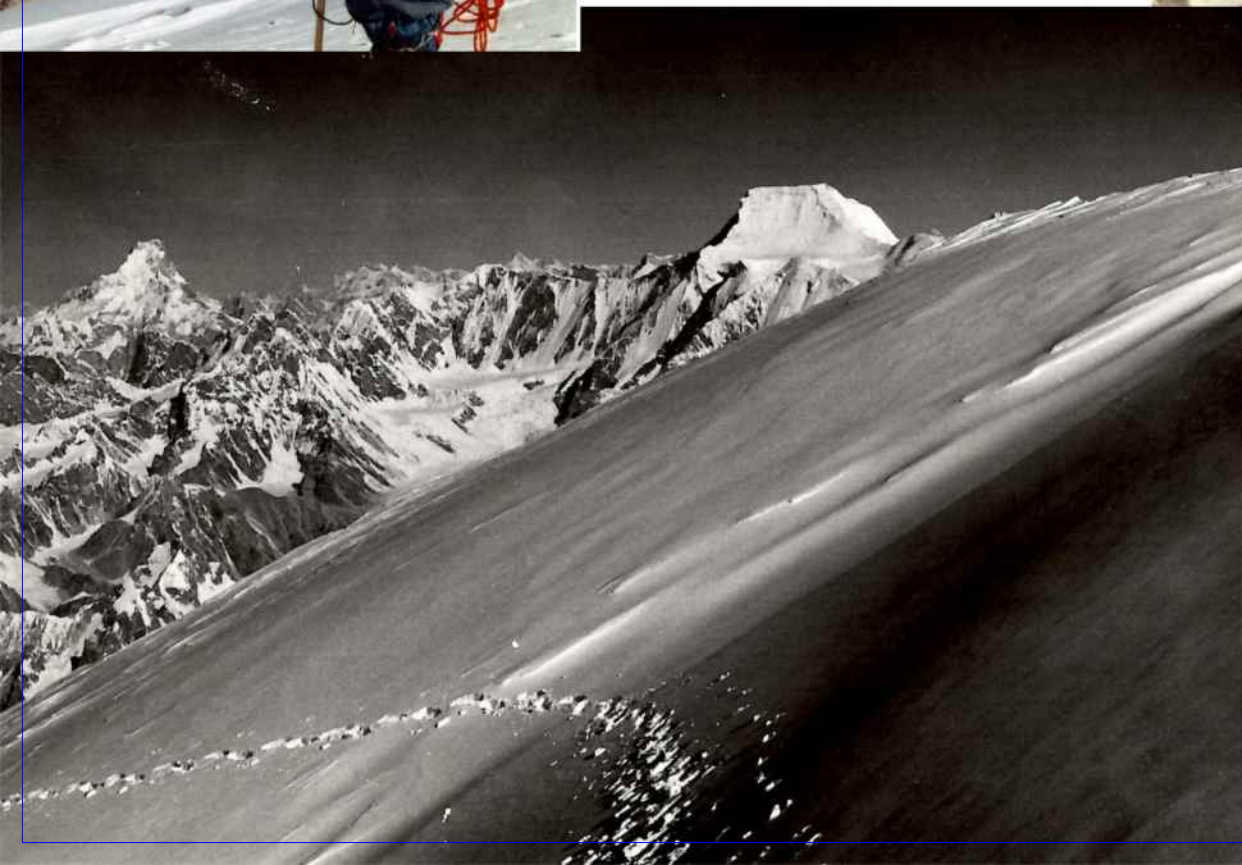




チョゴリザは1958年
平井一正隊長が初登頂した

👉 頂上アタック中の井上隊員

👉 頂上稜線からChogolisa



Masherbrum 7821m Chogolisa 7665m



Sherpi Kangri 7380m 頂上稜線を行く緒方: 井上撮影

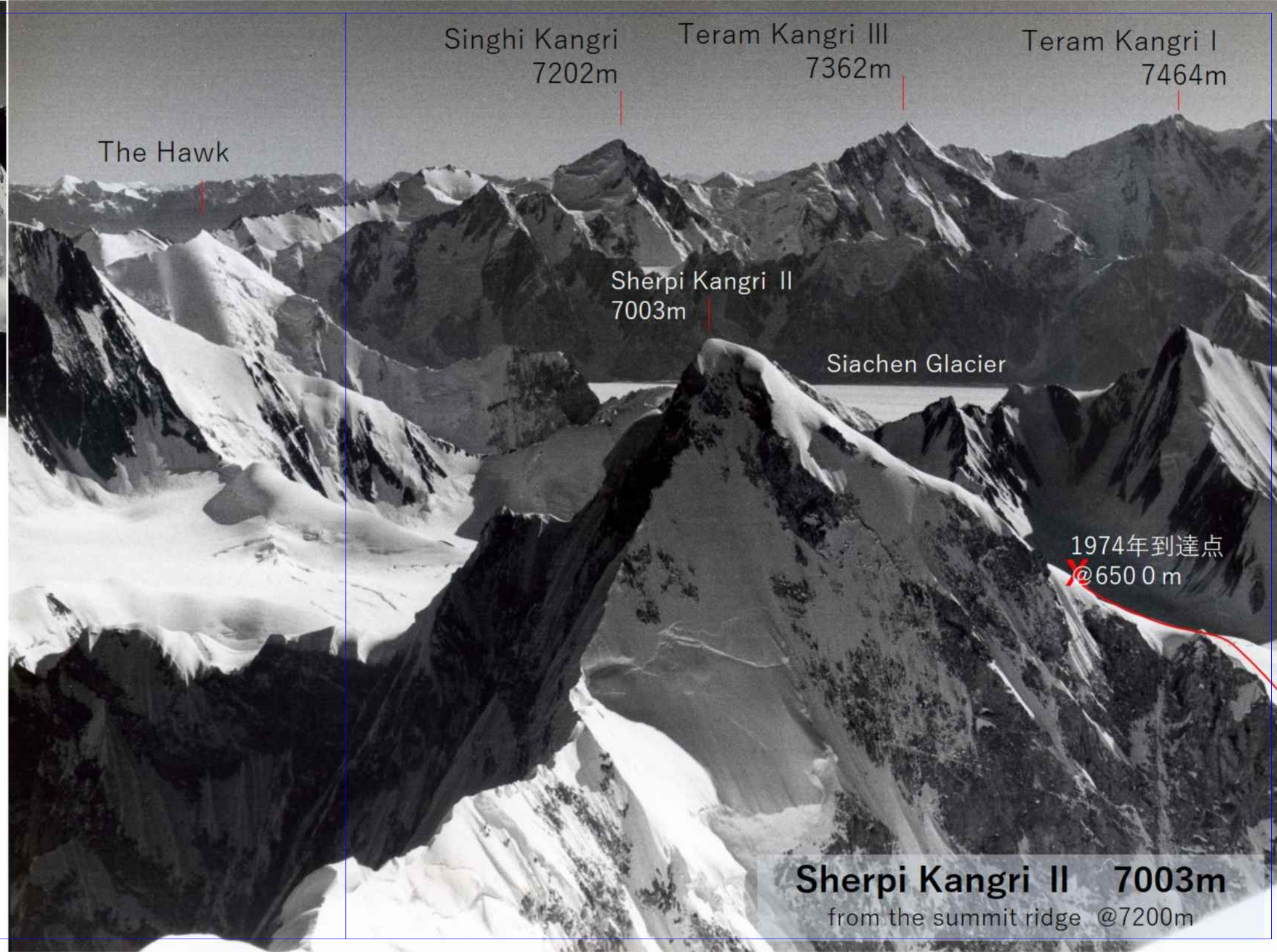


Gjent Kangri 7401m
1961 オーストリア隊初登頂



Singhi Kangri

1974年
第一次遠征隊は第二峰東稜を6500mまで登った



The Hawk

Singhi Kangri
7202m

Teram Kangri III
7362m

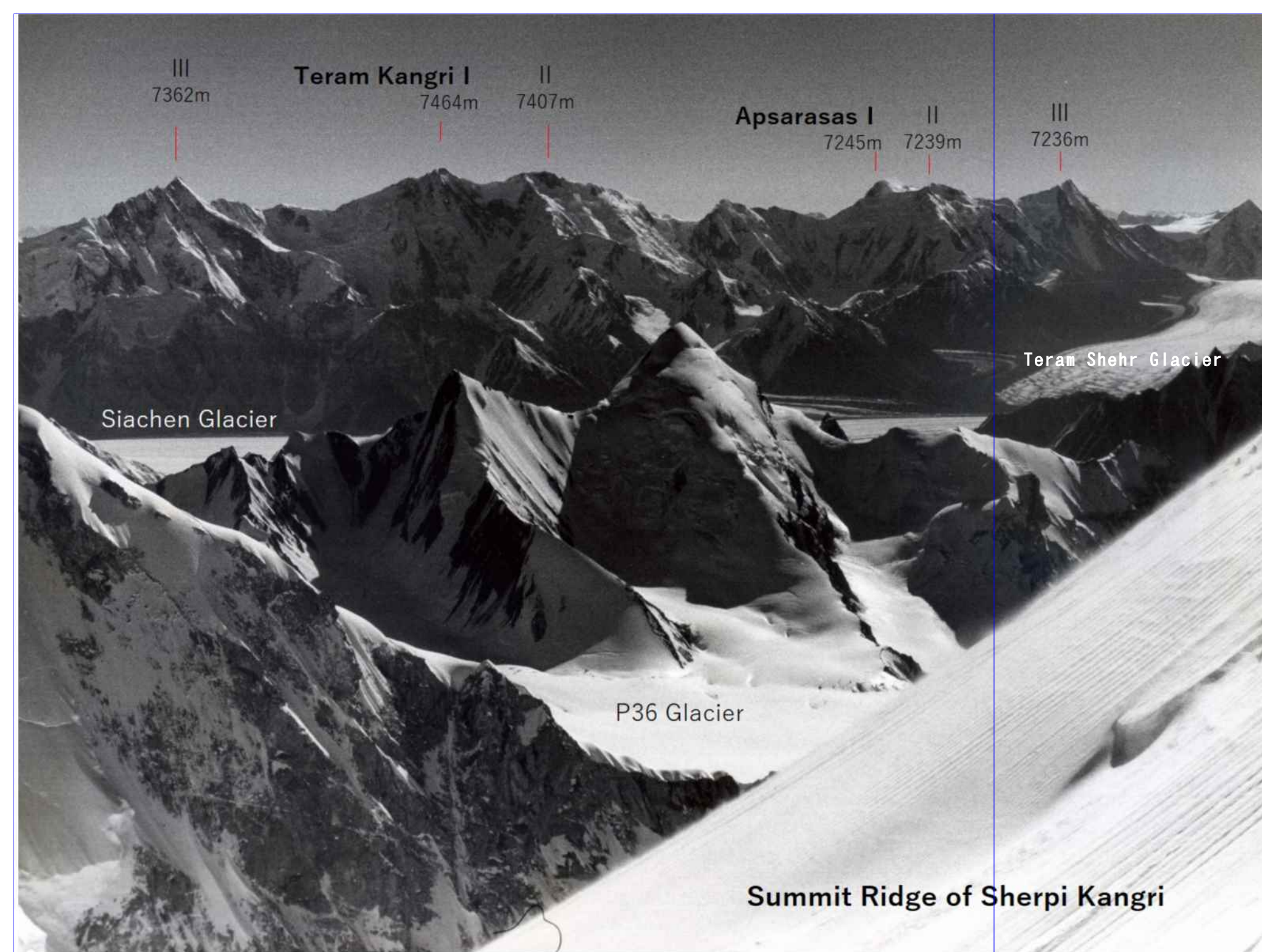
Teram Kangri I
7464m

Sherpi Kangri II
7003m

Siachen Glacier

1974年到達点
X @6500 m

Sherpi Kangri II 7003m
from the summit ridge @7200m



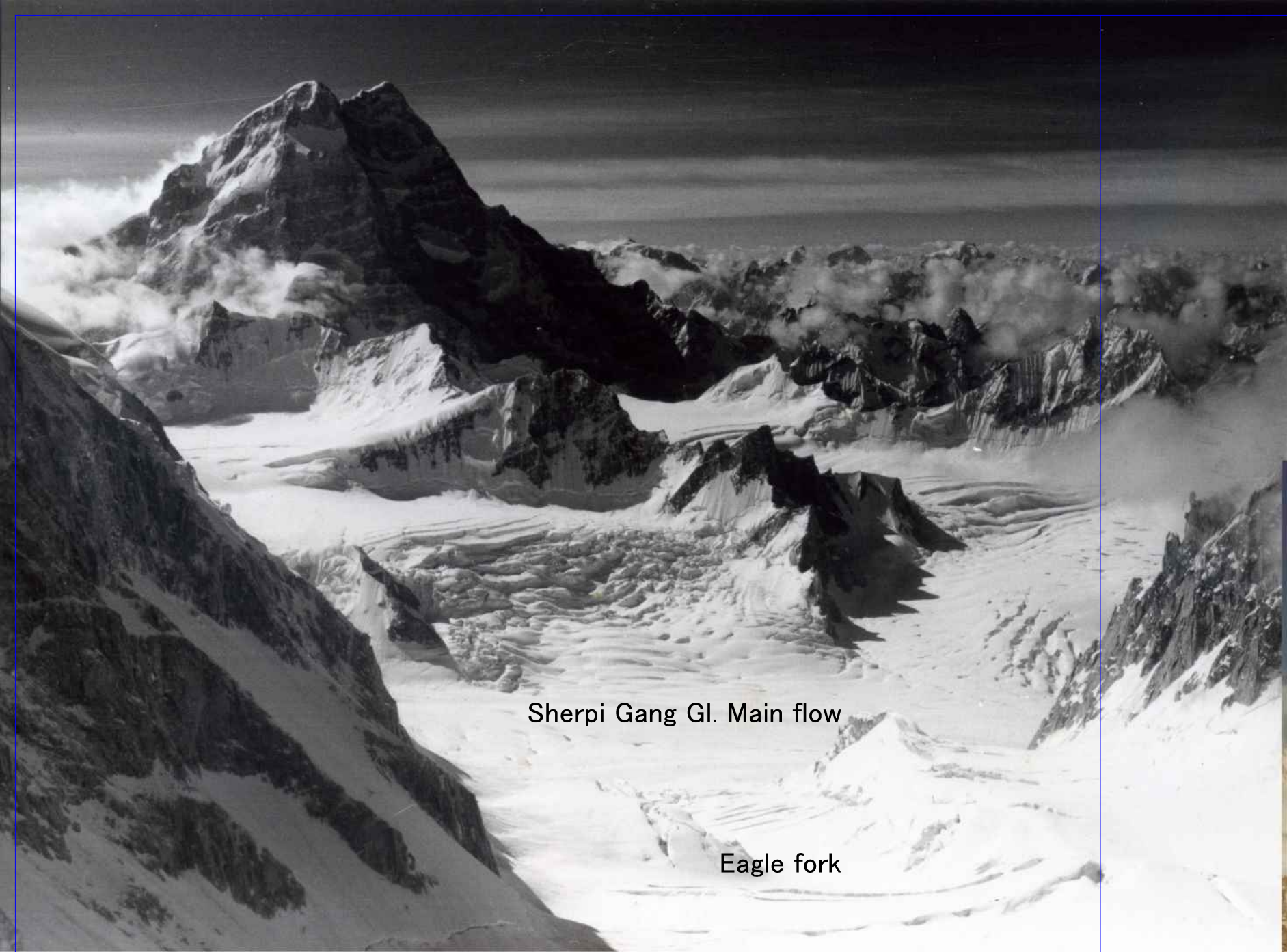
Apsarasas 7245m 1976年大阪大学隊初登頂



Teram Kangri 7462m 1975年静岡大学隊初登頂



Singhi Kangri 7202m 1976年東北大学隊初登頂



Sherpi Gang Gl. Main flow

Eagle fork

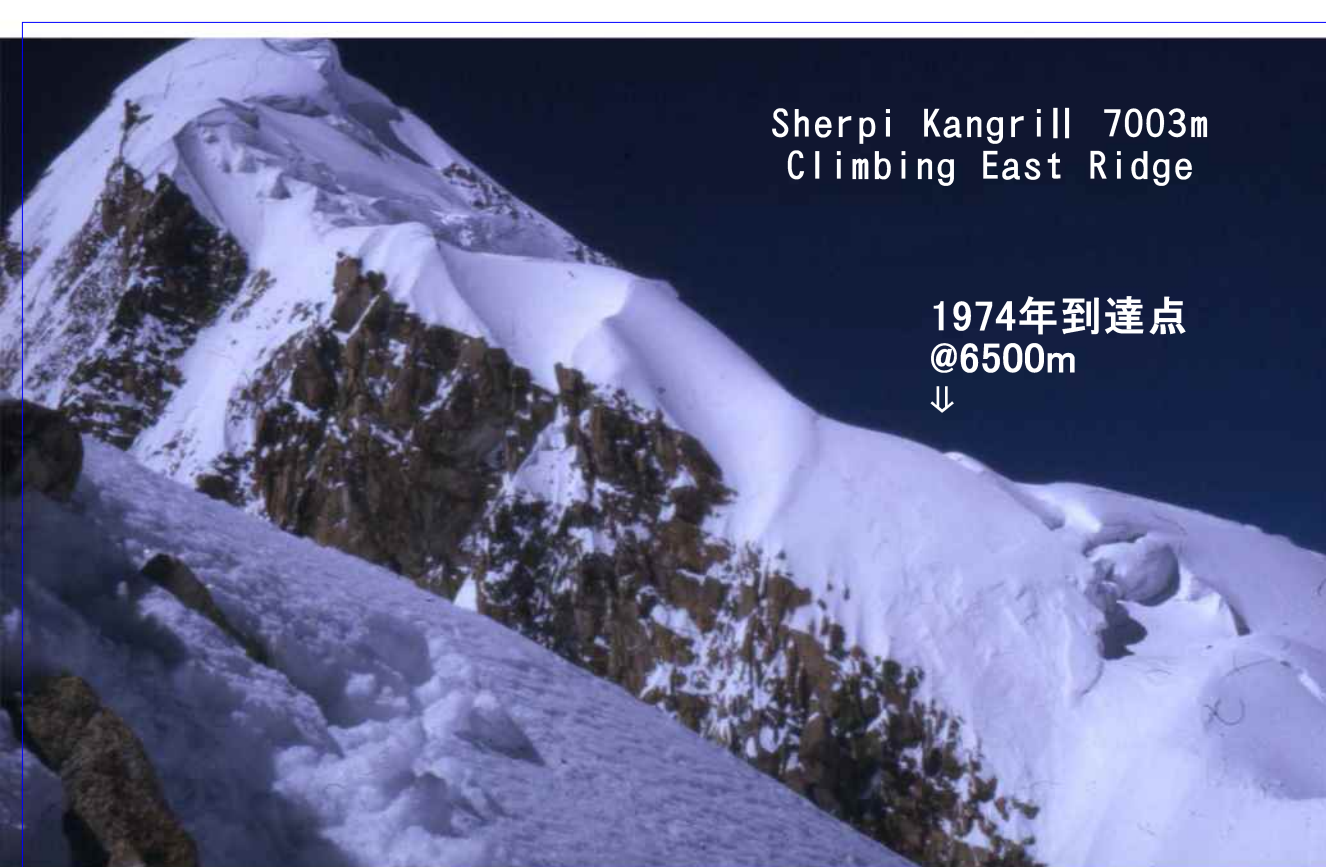
西稜からサルトロカンリ

Saltoro Kangri 7742m

Saltoro Kangri
1962年 京都大学隊が初登頂
東カラコルムの最高峰

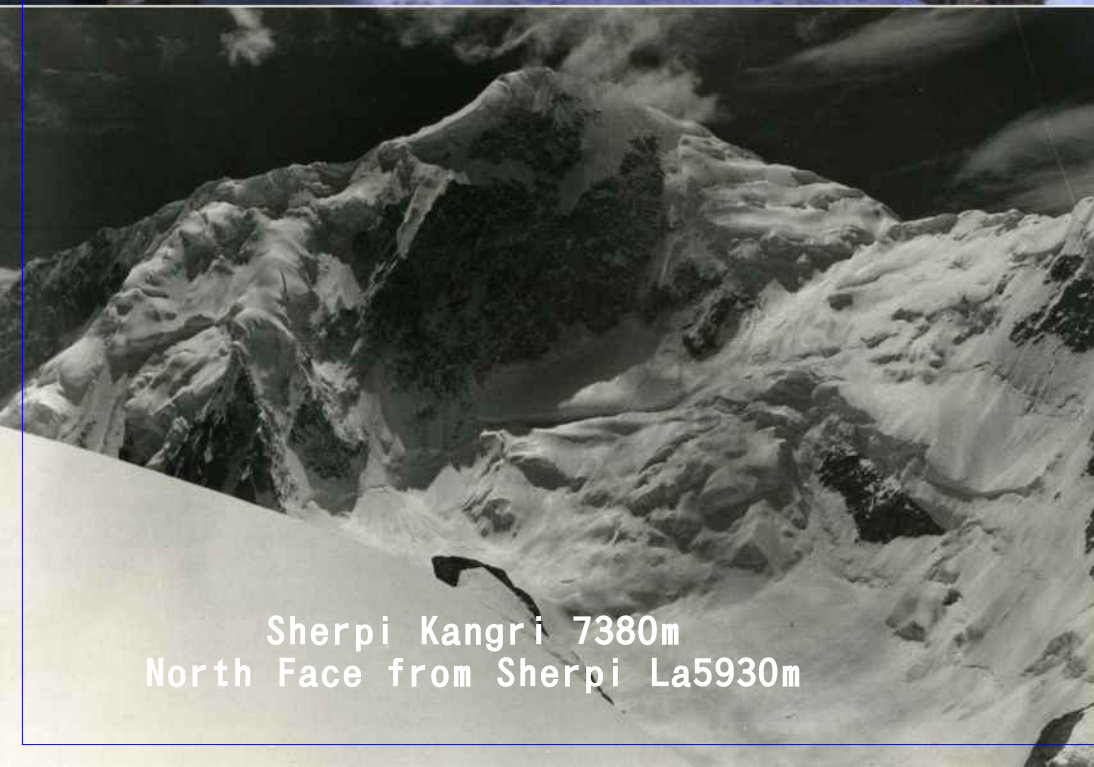
ABCからサルトロカンリ
夕日に輝くサルトロカンリ



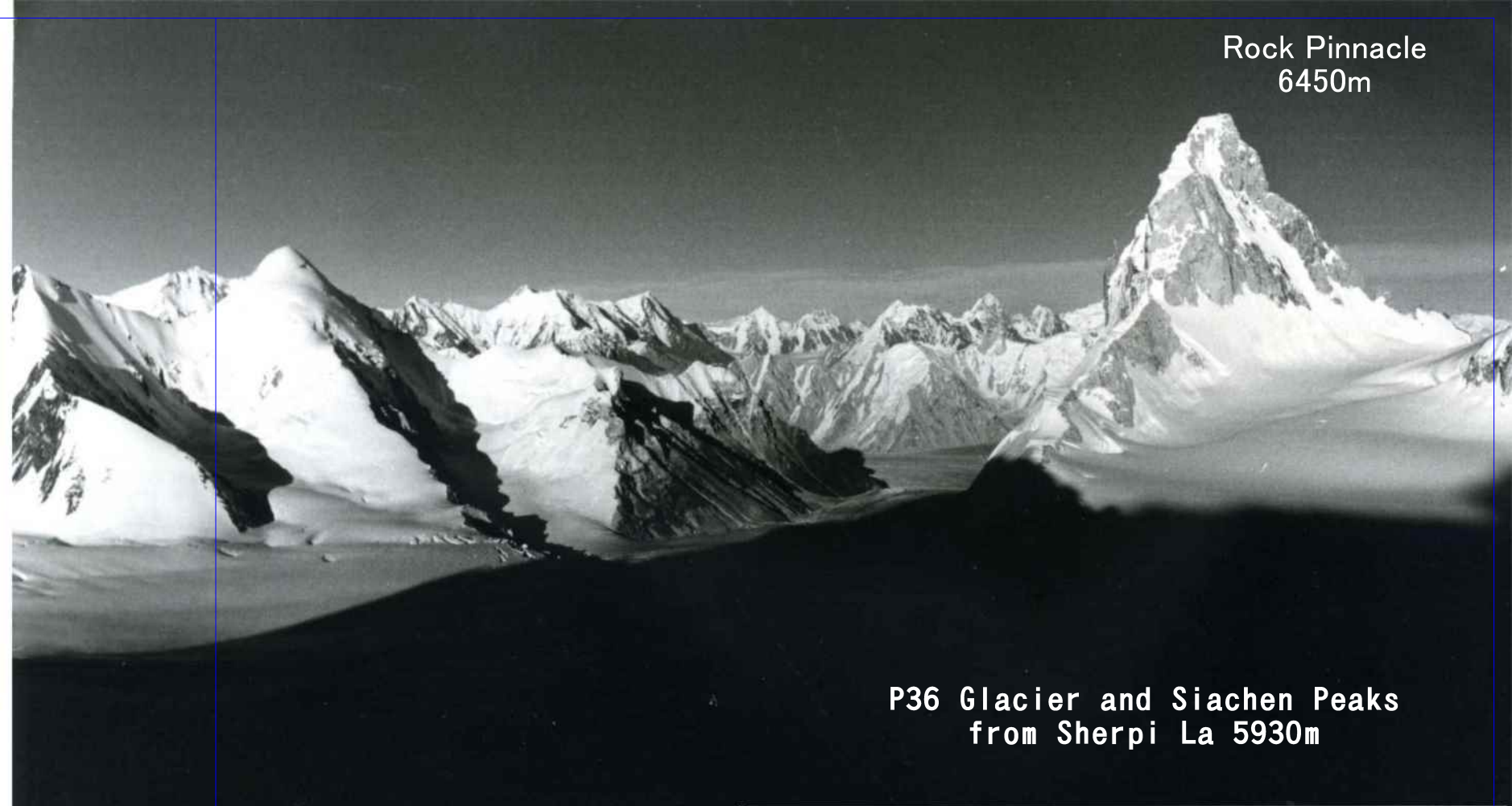


Sherpi Kangrill 7003m
Climbing East Ridge

1974年到達点
@6500m
↓



Sherpi Kangri 7380m
North Face from Sherpi La 5930m



Rock Pinnacle
6450m

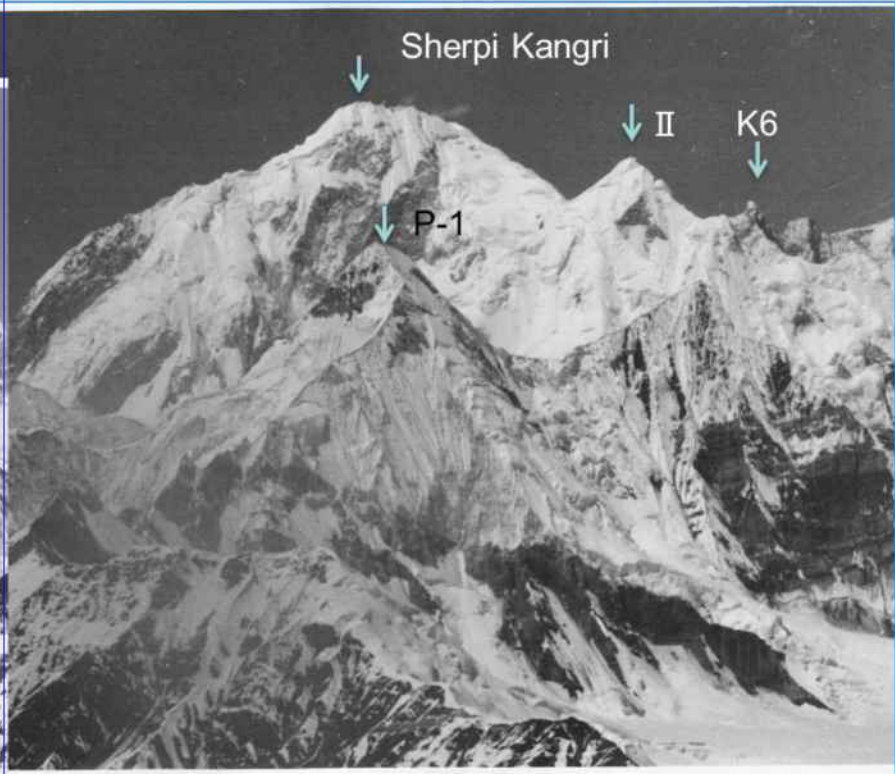
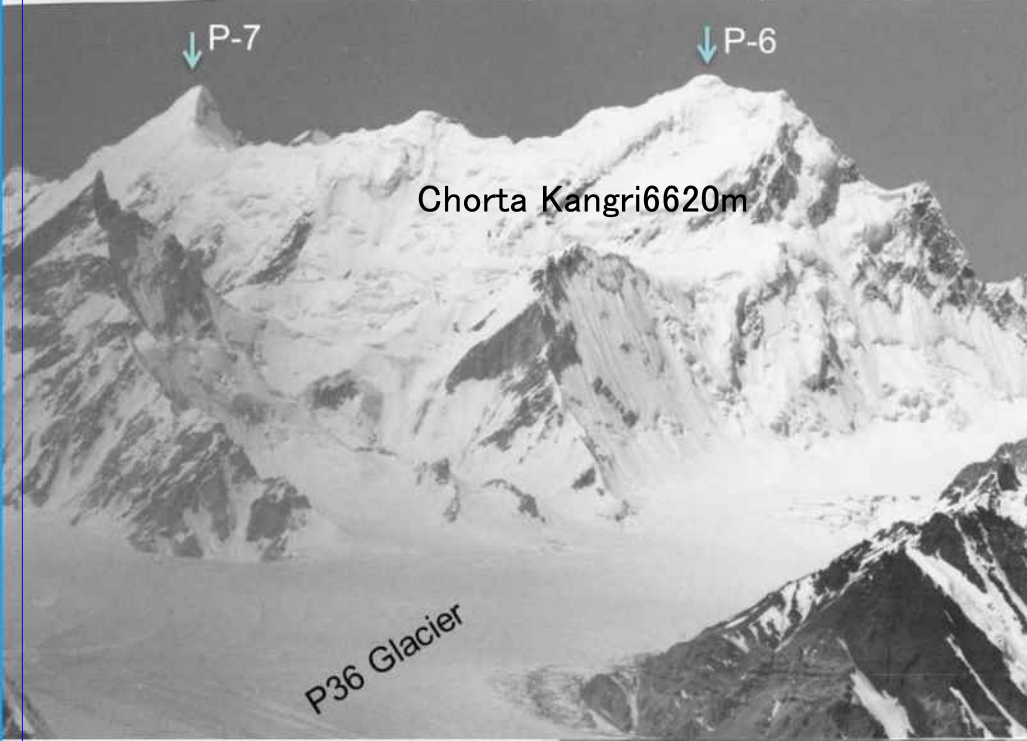
P36 Glacier and Siachen Peaks
from Sherpi La 5930m

1974年 第一次隊
Sherpi La 5930m 到達
第二峰 東稜6500m到達

Sherpi Gang Glacier
Climbing 4th Ice Fall



View from the camp of Apsarasa by Osaka University Party 1976



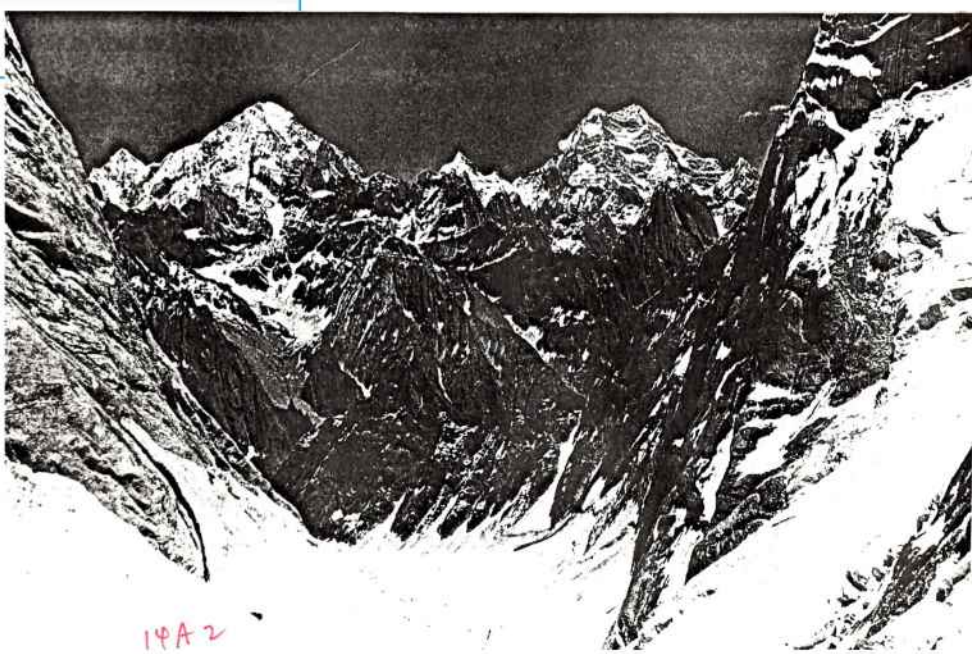
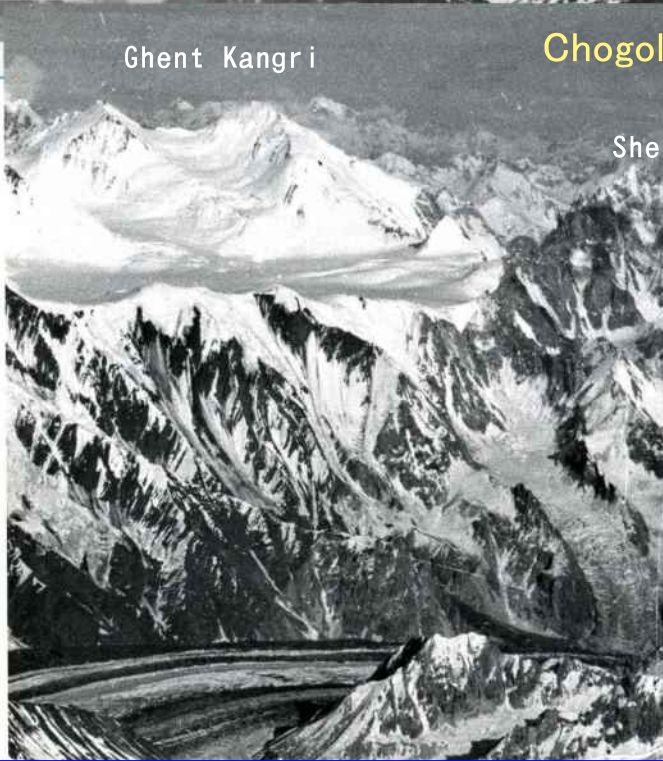
Sherpi Kangriの姿は他のピーク遠征隊が撮影したものがいくつかある。

第二峰を含めて姿が明確に識別できる。

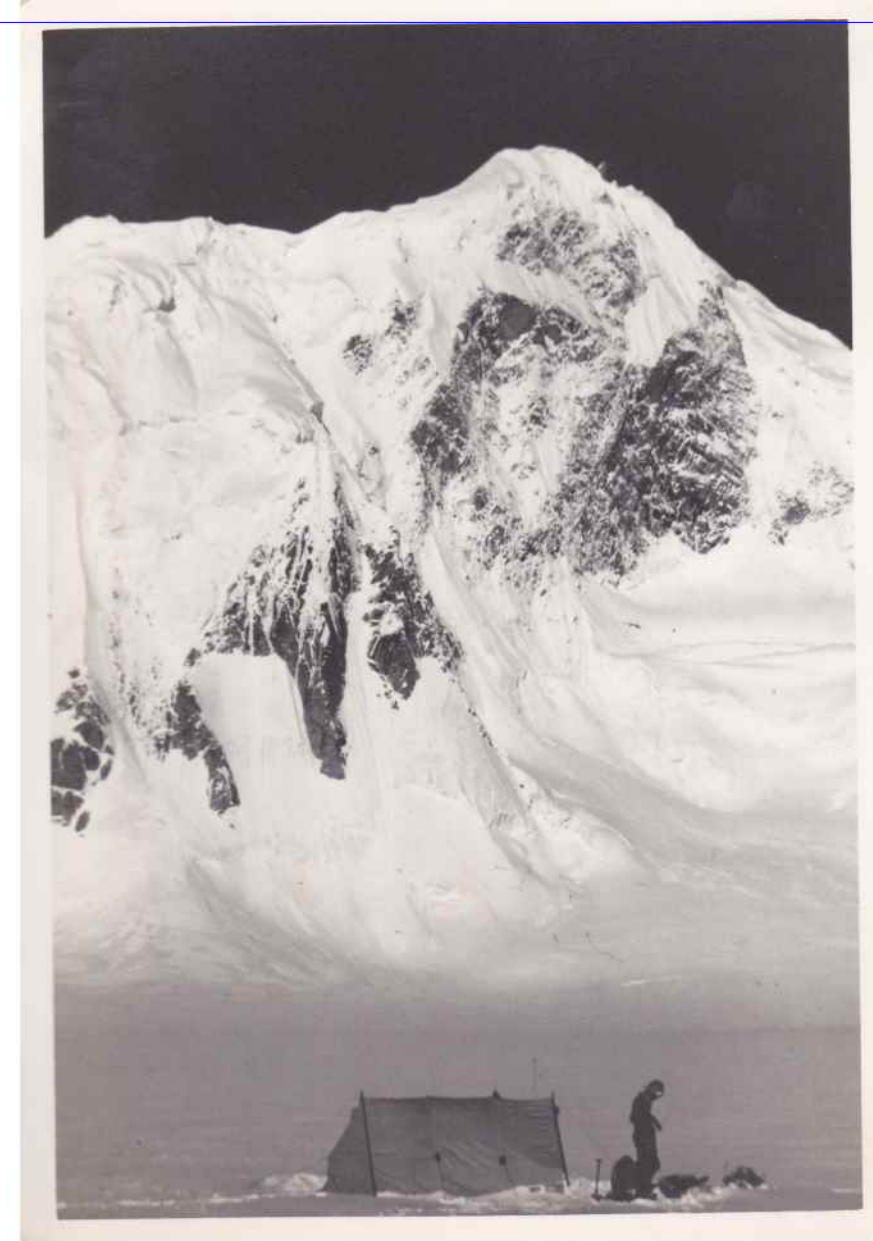
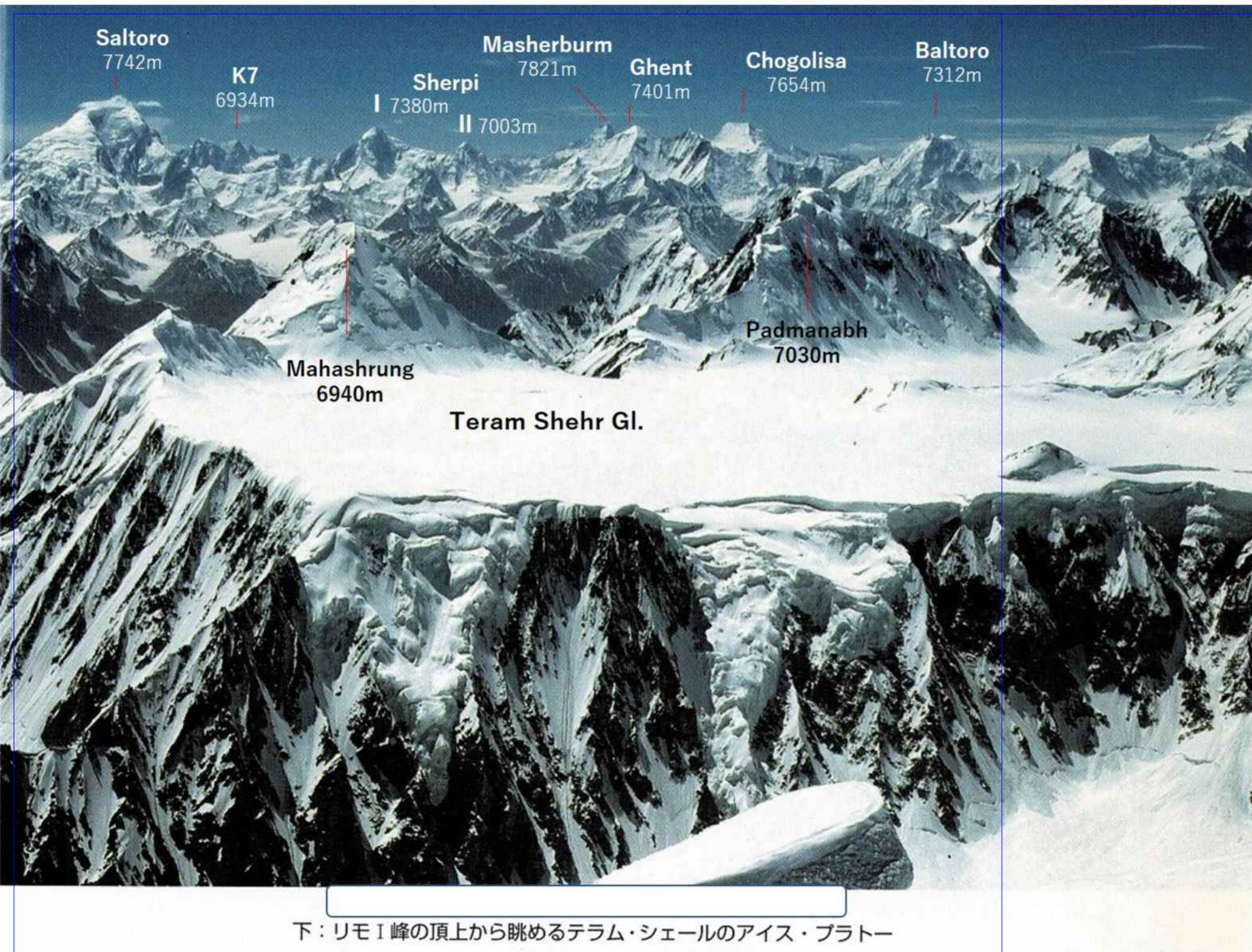
Sherpi Kangri Remote View



ゲントⅡ峰 (Ghent Ⅱ 7343m) から見たシェルピカンリ (Sherpi Kangri 7380m) とシェルピカンリⅡ (7100m 左手前) (1978 年 7 月 1 5 日、AAVK 隊がゲントⅡ登頂時に撮影)



14A2
K7方面 Kaberi氷河から撮影
Sherpi Kangri & Saltoro Kangri



Sherpi Kangri
1974年第一次遠征隊のC3
Sherpi La 5930m

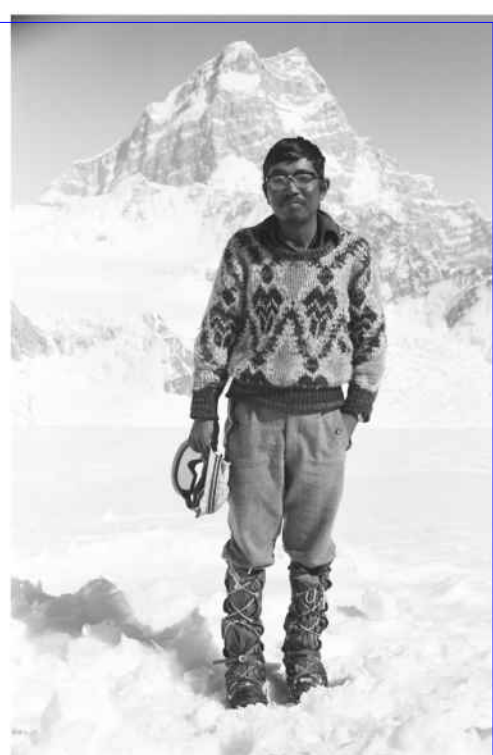


隊長 平井一正44
連絡将校
Asad Ullah Jan Mir 28

1976年 第二次隊メンバー



副隊長 田中俊甫36



医師 岡本信洋31
広石一英22



中村正男29
井上達男28



木本(高屋)義治26
鶴谷将俊31



緒方俊治27
居谷千春25



Base Campにそろった隊員たち
5人のハイポーター
コック
リエゾンオフィサー
10人の隊員 総勢17人



キャラバン
Saltoro Valley



Khor Kondus Rock Wall
右の谷にサルトロカンリが覗く



6月25日 チョンギ4650mを越えて
TBC 4450mに到達



6月16日 キャラバン出発
カパルーからザークでショーク川を渡る



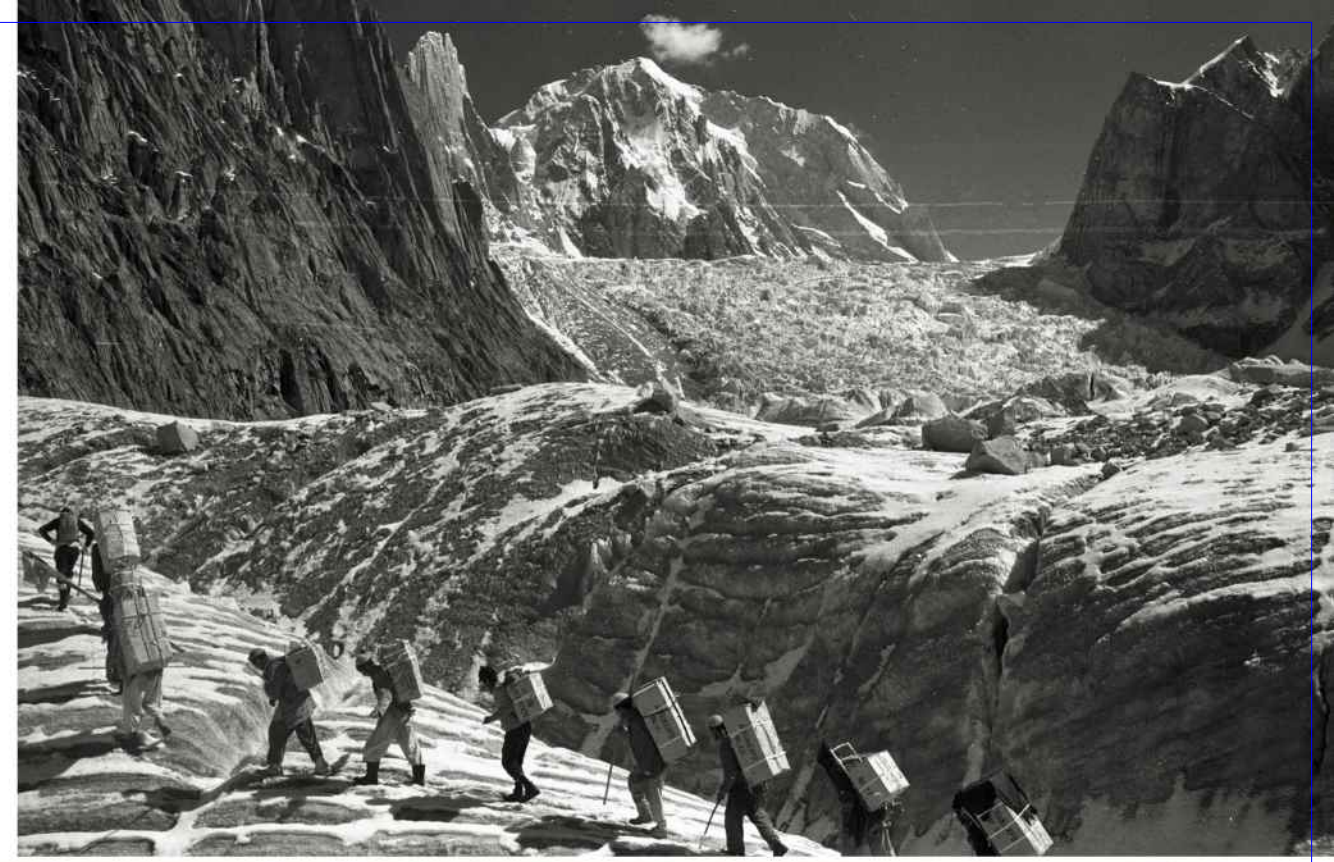
チョンギ



Chongi La を越えてTBCに入る



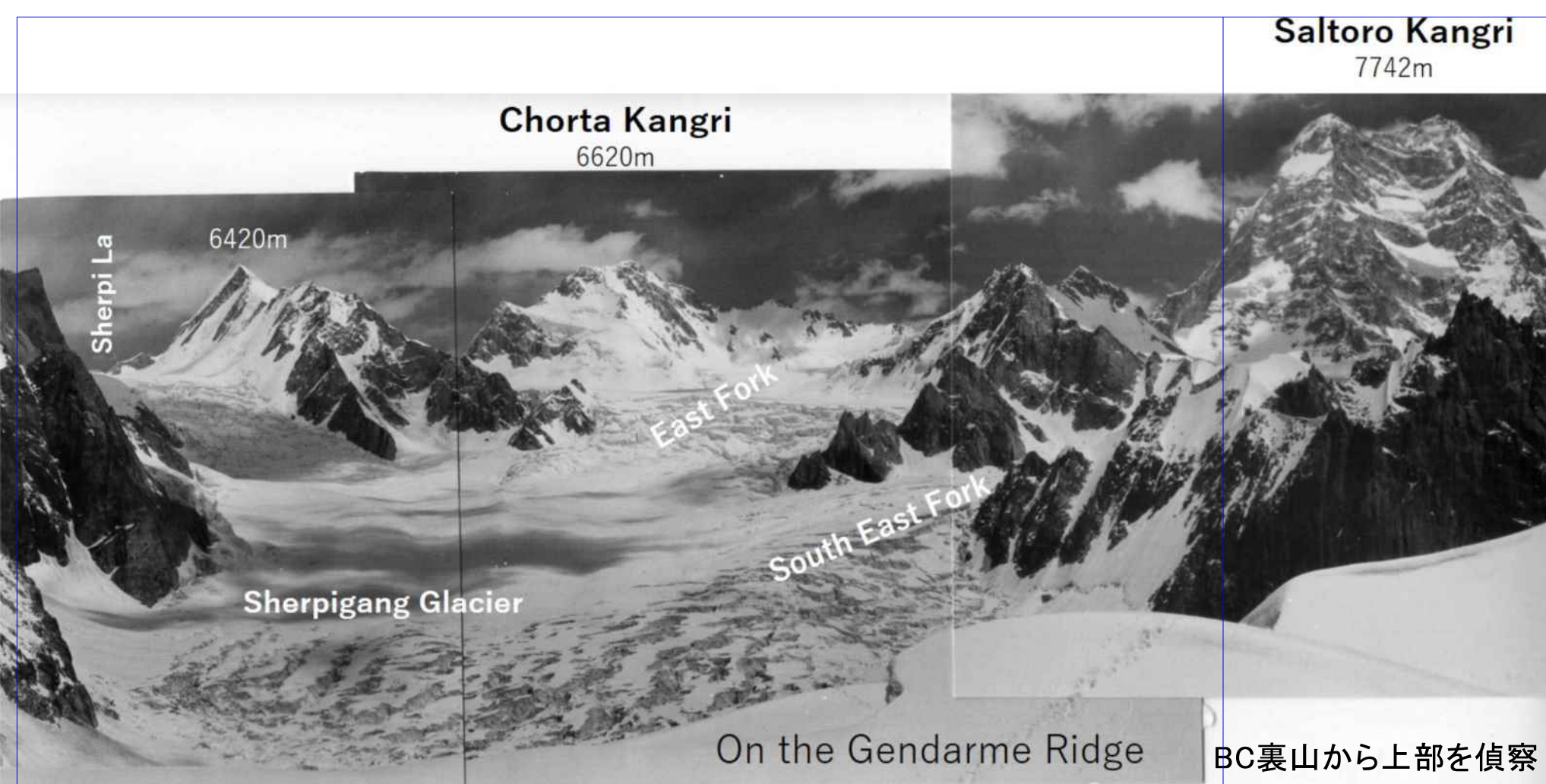
TBC 4450m
 第一次隊はここをBase Campとした
 岩山(Insel Berg)から清水が流れるお花畑だ
 登頂後、ここへ下山すると空気が肌に強く感じられ、体力の回復がわかる



BCへの荷上げ
 10名のポーターが連日活動



朝日に輝くSunset Peak
 TBC4450m



☞西氷河(Moon Light Fork)
とSunset Peak6050m

Sherpi Gang氷河TBC-BC間☞
遠方にDansam Peak 6666m



Base CampからGendarme II 6050mの岩峰を仰ぐ

Chumik Kangri
6754m

Dansam Peak
6666m

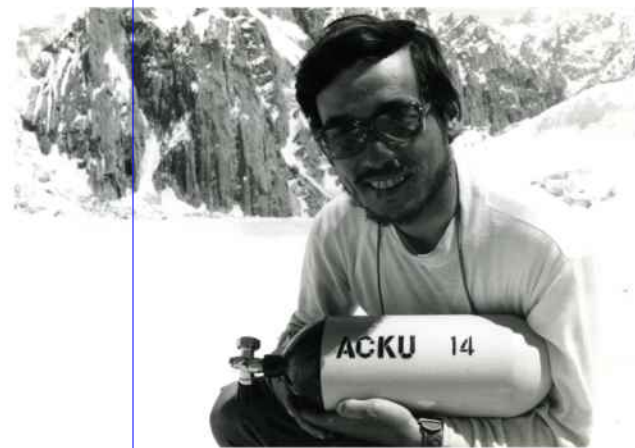


Base Camp 5120m

1976年7月7日
BCにすべての隊荷が集結された



👉 食事は何よりの楽しみ
食料系の緒方は絶賛された



👉 緊急用酸素ボンベ

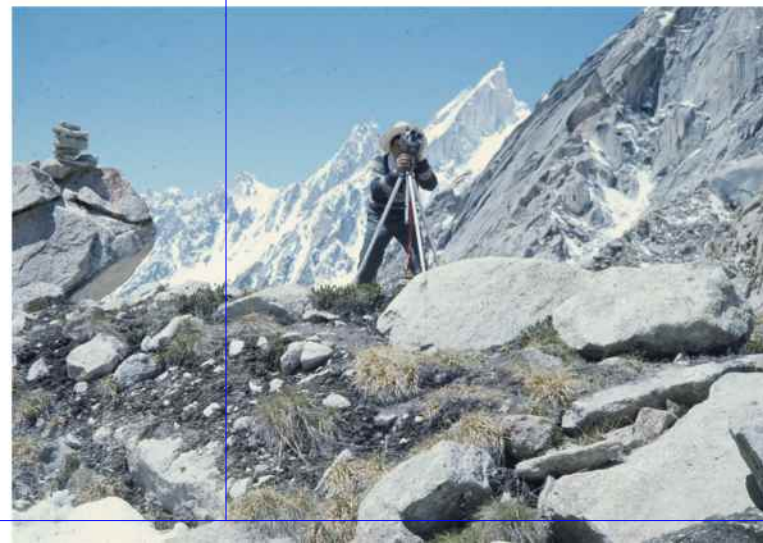


7月7日
ABCも建設された

ABC 5420m
Sunset Peakが見える

👉 ABC 左手に第4アイスフォール

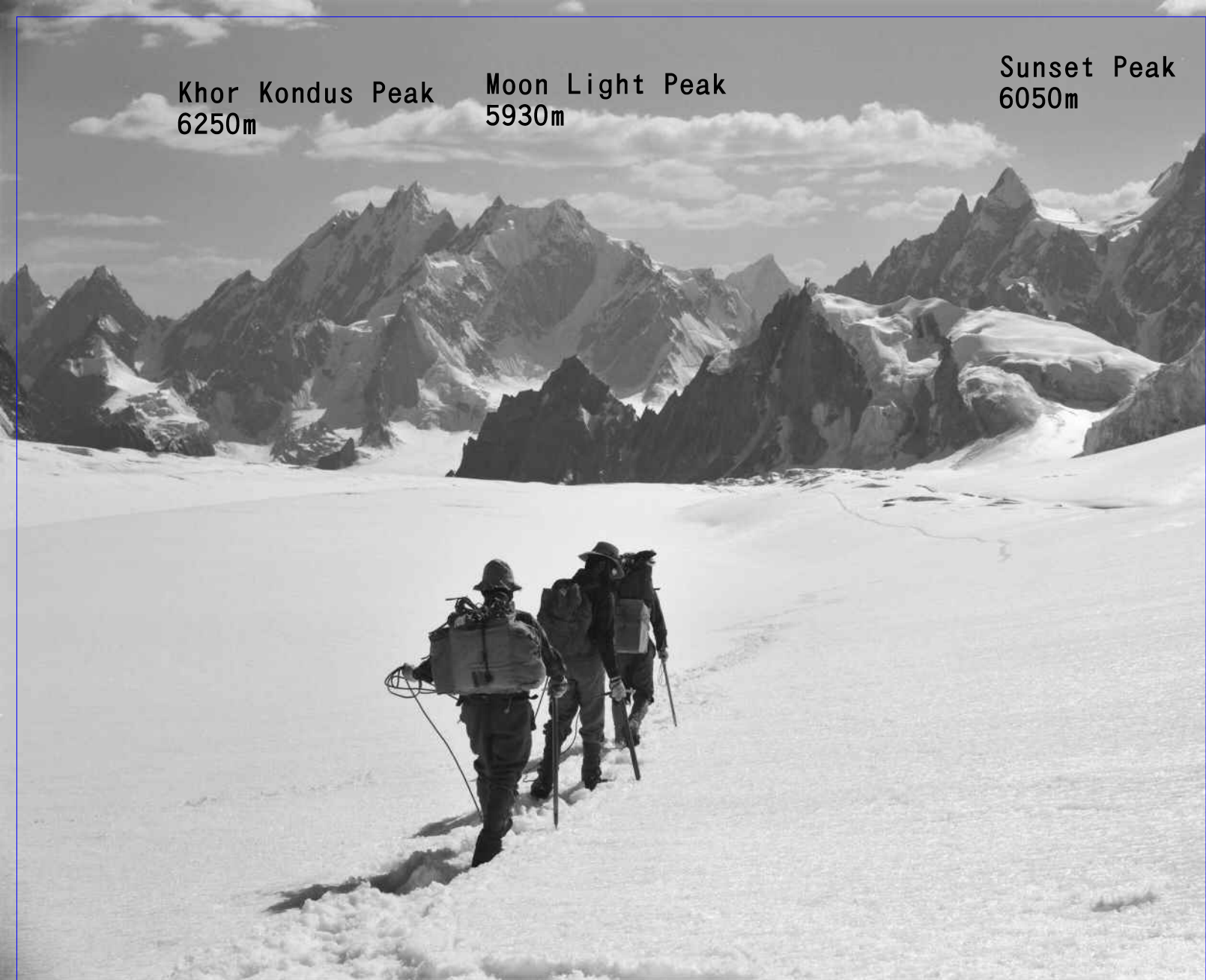
SherpiGang氷河の地図は不正確
なもののみ軍から借用した。
実際の地形は複雑で偵察と測量
にて地図を作った。



Khor Kondus Peak
6250m

Moon Light Peak
5930m

Sunset Peak
6050m



Sherpi Gang Glacier ABCよりBCに下る隊員たち



7月12日
Camp-1 6100m建設
Gendarme-I 6400m

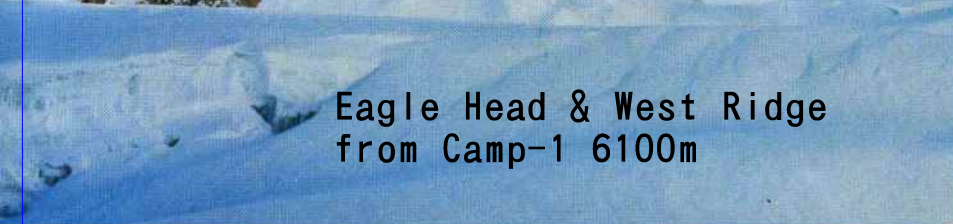
Dong Dong Peak 6410m

South east Fork
Sherpi Gang Glacier

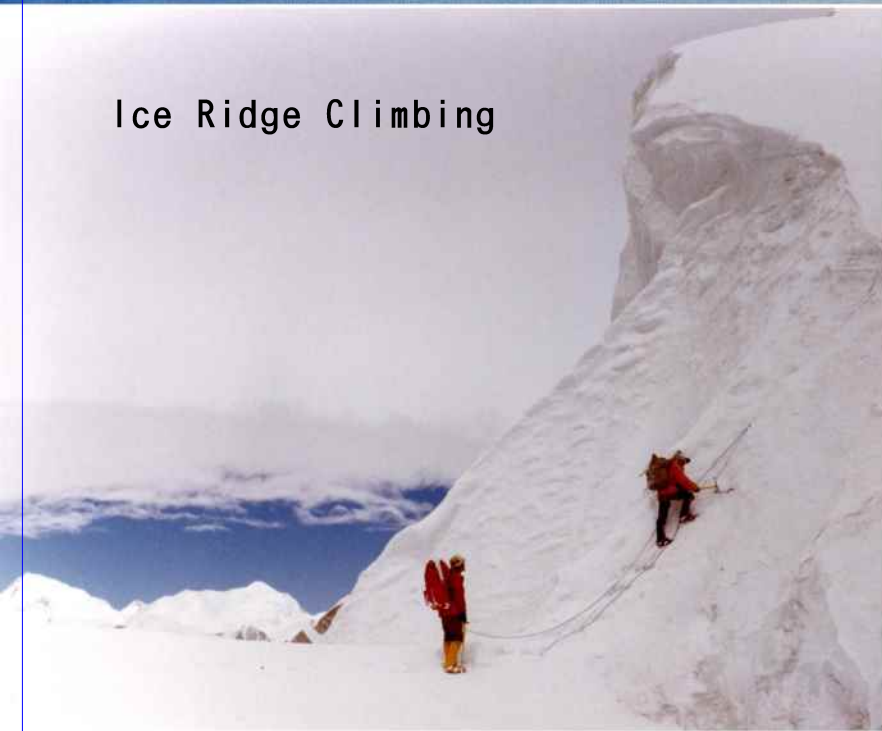




7月19日
Camp-2 6500m建設
↓



Eagle Head & West Ridge
from Camp-1 6100m



Ice Ridge Climbing



Climbing Eagle Head



Close to Camp-3



Eagle Head 6700m



Near Camp-2



Camp-2 6500m
on the West Ridge
After a storm



C3 Attack Camp 6900m
暮れゆくK6 K7がかすみ、Eagle Headが暗い影をおとす



Eagle Headから一旦コルに下りると
西稜が傾斜を増して頂上へと続く

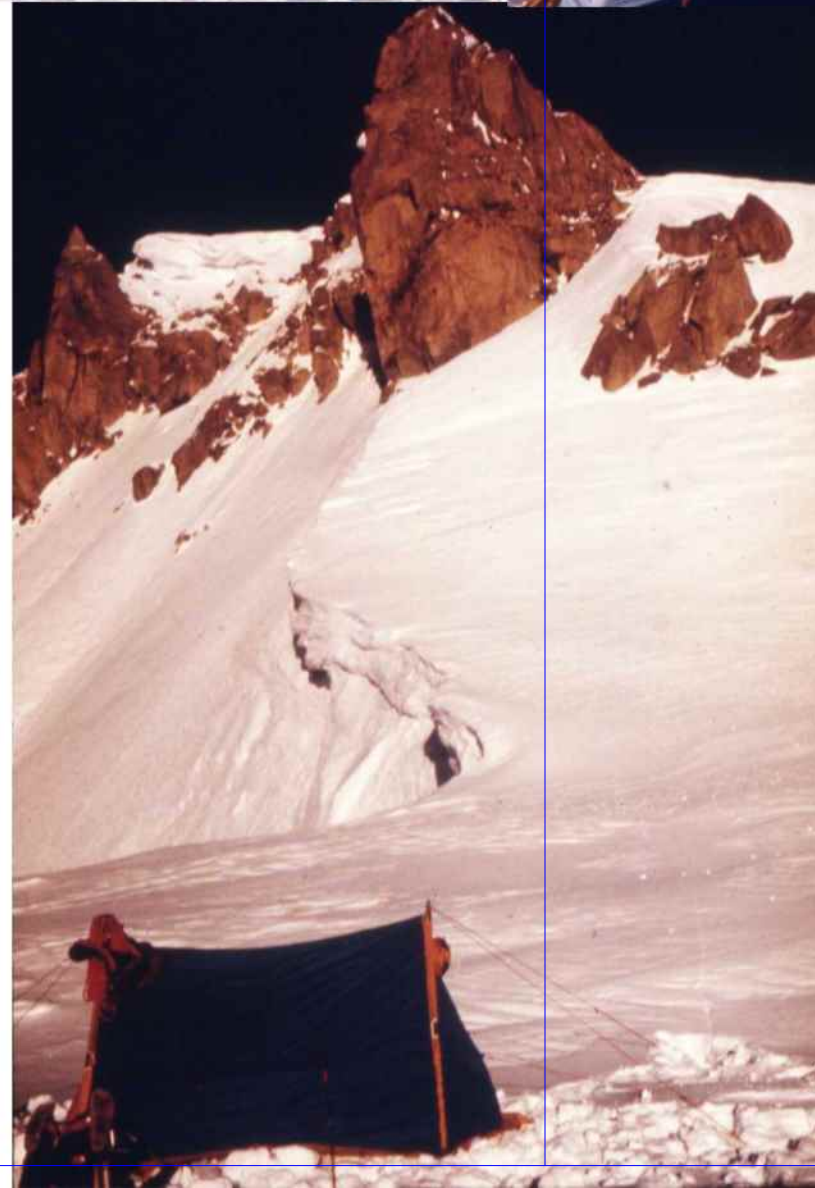


Camp-3 6900m

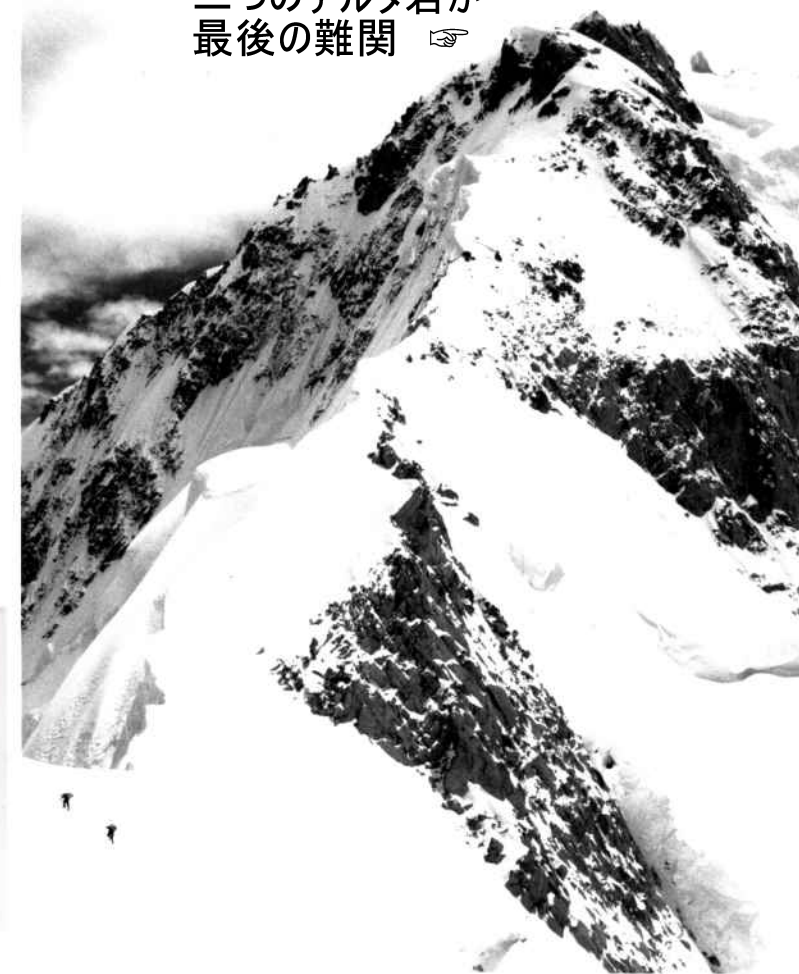
左手の吊り尾根が西稜と合体して
肩の岩峰を形成している
アタックはここが勝負どころだ

頂上のキバもはっきり見える

二つのデルタ岩が
最後の難関



登頂後C3に帰還





2012年12月1日
緒方は富士山八合目
太子館下でスリップ
吉田大沢に滑落死亡

共にシェルピカンリの
頂きに立った友を失った

緒方俊治



井上達男

1976年8月10日
緒方俊治 井上達男
Sherpi Kangri 7380m
初登頂

本アルバムは手持ちの写真を整理、
デジタル化を進める中で遠い記憶
を呼び起こしてまとめた。
ヒマラヤの初登頂記録は更新され
ることのないオンリーワンだ。
2021年12月16日 作成:井上達男